

**大阪府支援教育研究会と大阪府教育委員会、大阪府教育センターとの懇談会**

2月9日（水）に大阪府支援教育研究会と大阪府教育委員会、大阪府教育センターとの懇談会が行われました。今回は、教育委員会から6名、センターから1名、研究会から13名（本部役員、支部長、行事部員）計20名の参加でした。大阪府支援教育研究会から2010年度の活動報告の後、「大阪府における支援教育の現状と課題」というテーマで懇談会を持ちました。

**～懇談会の内容について～**

大阪府支援教育研究会では、「今年度における支援教育の現状」について大阪府内各地区からの意見をまとめました。それに基づいて大阪府教育委員会と相談し、懇談会では、下記の4つについて1～3については大阪府教育委員会から、4については大阪府教育センターより項目の説明があり、それを受けて学校現場からの意見を言い、交流をしました。

1. 一人ひとりのニーズに応じた支援教育の充実について
2. 障がいのある生徒の就労支援について
3. 共生推進教室、府立支援学校の教育環境の充実について
4. 教職員研修活動の推進について

1. 一人ひとりのニーズに応じた支援教育の充実について
  - ・ 支援学級の現状と課題（来年度の支援学級入級予定者は中学校で約500名、小学校で約700名の増加）
  - ・ 個別の教育支援計画について（特に通常学級の教師にどのようにして個別の支援計画の作成や活用の仕方について知らせていくかが課題）
  - ・ 支援教育地域支援整備事業について（支援学校のセンター的機能の発揮、市町村でチームを組んで支援を行っている。コーディネーターの次世代の育成が課題）
  - ・ 「就学前からはじめる支援教育」について

## 2. 障がいのある生徒の就労支援について

- ・ 大阪府では、障がいのある生徒の就労が全国平均より低い。東京では大きな企業が多いため特例子会社も多いが、大阪では中小企業が多いことが原因の一つと考えられる。
- ・ 高等部を卒業するときに、一番の就労のチャンス。
- ・ 障がいのある生徒の就労支援については、詳しくは、「平成22年度教育長マニフェスト」と重点課題3を参照 <http://www.pref.osaka.jp/kikaku/manifesto/13-22.html>

## 3. 共生推進教室、府立支援学校の教育環境の充実について

- ・ 高等学校における ともに学び、ともに育つ 教育の推進について  
<http://www.pref.osaka.jp/shienkyoiku/jiritsu-kyousei/tomonimanabi.html>
- ・ 府立支援学校新校整備について  
<http://www.pref.osaka.jp/attach/6168/00000000/kihonkoushin%20gaiyouban.doc>

## 4. 教職員研修活動の推進について

- ・ センターでの支援教育に関する研修は21研修。今年度、基礎研修と応用研修に分けて組み立てた。
- ・ 希望が多かったのは、「自立活動研修」と「WISKⅢの解説」であった。
- ・ 作業学習、キャリア教育、授業力アップ などの研修も充実させていく。

今年度は、特に1.「一人ひとりのニーズに応じた支援教育の充実について」や3.「共生推進教室、府立支援学校の教育環境の充実について」で多くの質問や意見が出されました。二時間という短い時間ではありましたが、たくさんの参加者から現場の思いや考えを発言する機会があり、有意義な懇談会を行うことができました。

大阪府教育委員会では、いろいろな事業にとっても積極的に取り組んでおられます。私たち教員もその事業についてもっと知り、まわりの教員や保護者に広めていけるよう、頑張っていかななくてはならないと思いました。是非、皆様も大阪府教育委員会の支援教育課のホームページにアクセスしてみてください。

大阪府支援教育研究会 行事部